

平成19年3月1日

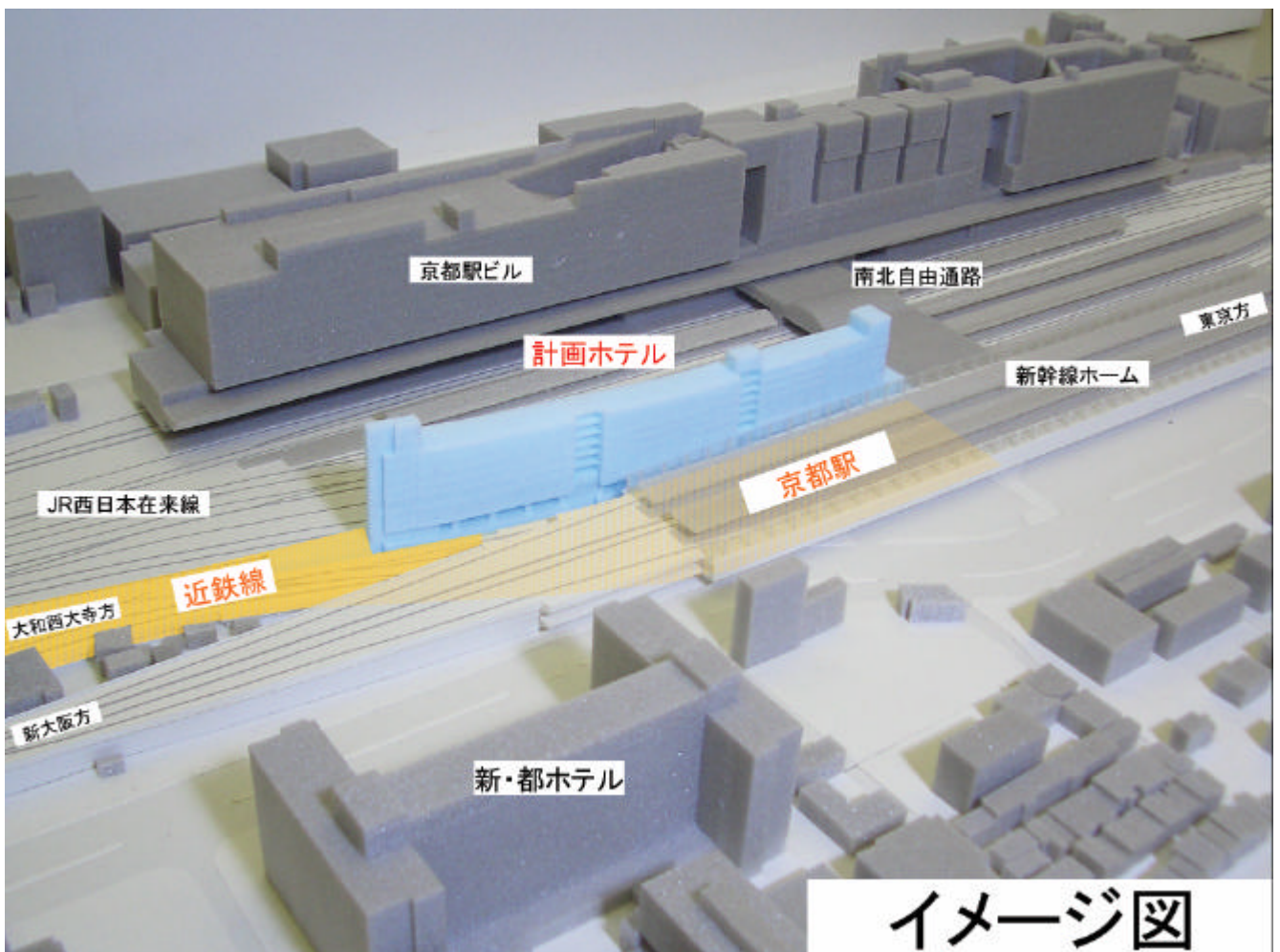
近畿日本鉄道株式会社

京都駅ターミナル整備計画の概要について

近鉄では、現在推進中の「近鉄グループ経営計画（平成18年度～平成21年度）」において、コア事業の基盤強化のため、主要ターミナル整備の方針を掲げています。このうち京都駅では、JR東海が新幹線高架橋の耐震補強工事を鋭意推進されておりますが、同工事を機に、同工事の施工範囲となる駅施設や高架下店舗施設について、配置変更やリニューアルを計画しております。

さらにこの度、新たに宿泊特化型のホテルを駅構内に建設する計画を加え、京都駅ターミナル全体の整備計画を策定しましたのでお知らせします。

京都では、入洛観光者数が過去最高を更新し続けていますが、当社の京都駅ターミナルを観光・ビジネスの拠点にふさわしい駅へと再整備し、奈良や飛鳥などへの玄関口としての機能を充実させるとともに、高水準で推移する宿泊需要の受け皿を新たに設けることで、鉄道事業、ホテル事業、不動産事業など当社のコア事業の強化を図りたいと考えております。



1. 改札統合および4番線設置計画

(1) 1階改札口の駅施設を2階部へ統合し、階段・エスカレーターを構外に設置することで、お客様の流動の利便を図ります。

(別添資料「改札統合計画」を参照願います)

(2) 現在3線の線路の北側に1線増設(6両長ホーム)して4線化することにより、列車の折り返し時間の延長などを行い、お客様のホームでの待ち時間を減らすなどサービス向上を図ります。

| | | |
|-----------|----------|------------------|
| (3) 今後の予定 | 平成19年12月 | 1階改札口使用終了 |
| | 平成20年10月 | 構外階段・エスカレーター供用開始 |
| | 平成24年 6月 | 4線化完了 |

2. 高架下店舗施設「近鉄名店街」のリニューアル計画

1階の近鉄八条口改札西側のお土産物店舗や飲食店舗が集積する「近鉄名店街」については、昭和39年のオープン以来、皆様にご愛顧頂いておりますが、このたび全面的なリニューアルを実施します。

(リニューアル後の「近鉄名店街」イメージ)



(1) 店舗面積を、現行の2,800㎡から約3,100㎡に増床します。

(2) 「おもてなしの心」をテーマに、観光のお客様と地元のお客様をターゲットとして店舗やサービスを再構築します。

(3)「モダン古都スタイル」を環境コンセプトとして、「古都」のイメージを現代の建築素材で表現し、「落ち着き」と「賑わい」を両立させ、外装や共用通路を京都の南玄関口にふさわしい空間へと一新します。

(4) 今後の予定

平成19年12月 近鉄名店街リニューアル工事着工

平成20年10月 近鉄名店街リニューアルオープン

3. ホテル建設計画

新設する4番線の上空を高度利用し、駅に直結した好立地にホテルを建設します。

近接する「新・都ホテル」、東山にある「ウェスティン都ホテル京都」の既存2ホテルは、シティホテルとしての様々な機能(宿泊、料飲、宴会、婚礼など)を持っていますが、新ホテルについては、ホテル機能を宿泊に特化させます。

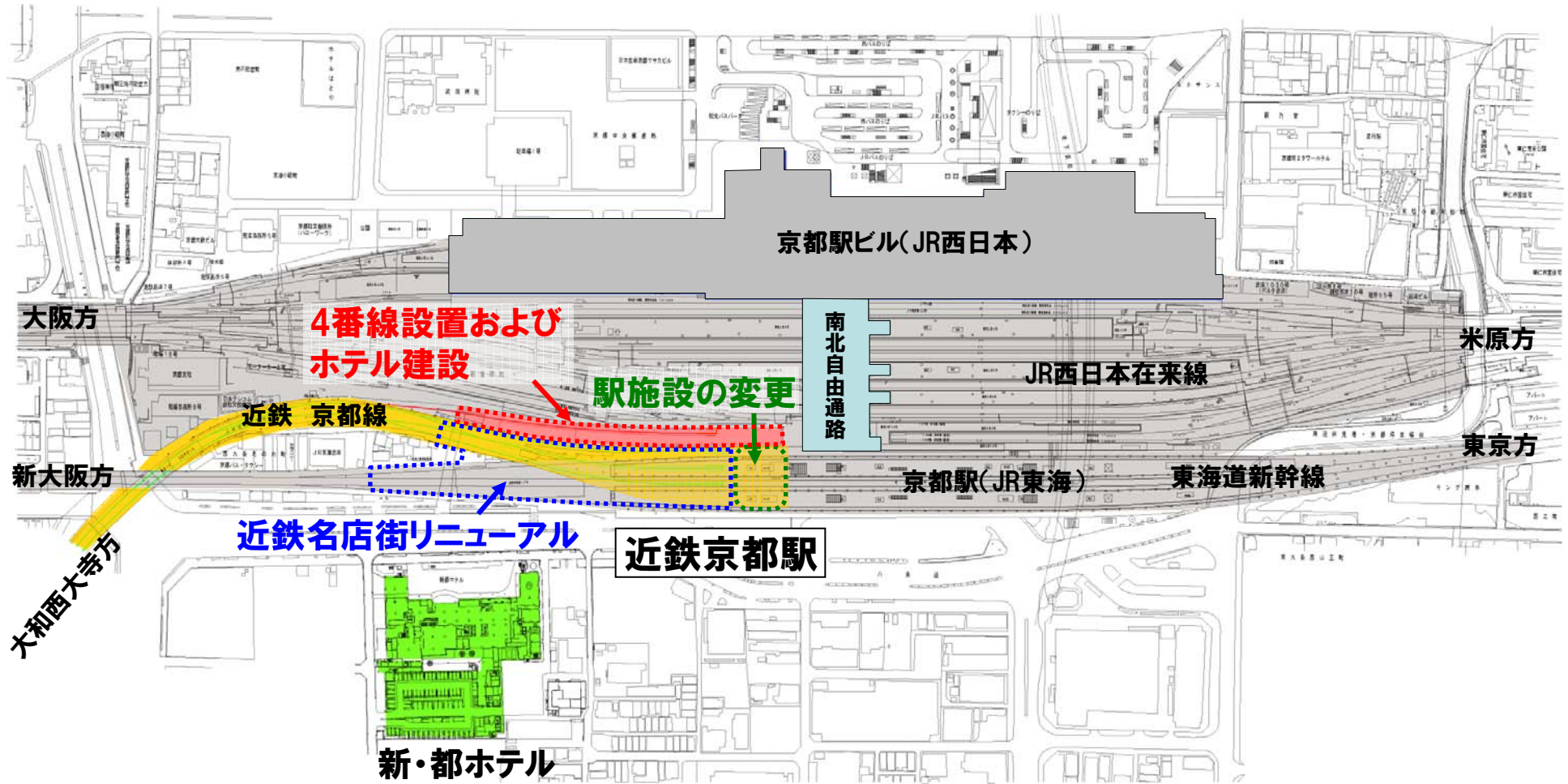
既存2ホテルに比して、客室サイズはコンパクト化し、価格帯もエコノミークラスを想定していますが、客室内装へのインテリアデザイナーの起用や宿泊客専用ラウンジの設置等により、お客様が同価格帯の周辺ビジネスホテルよりもお値打ち感を感じることもできる高品質エコノミークラスとします。既存2ホテルとあわせ、それぞれ特色を持たせた3つのホテルで京都における全ての顧客ニーズに応えます。

今後、近接するJR東海、JR西日本を含む関係先との協議を重ね、施設計画を固めてまいります。

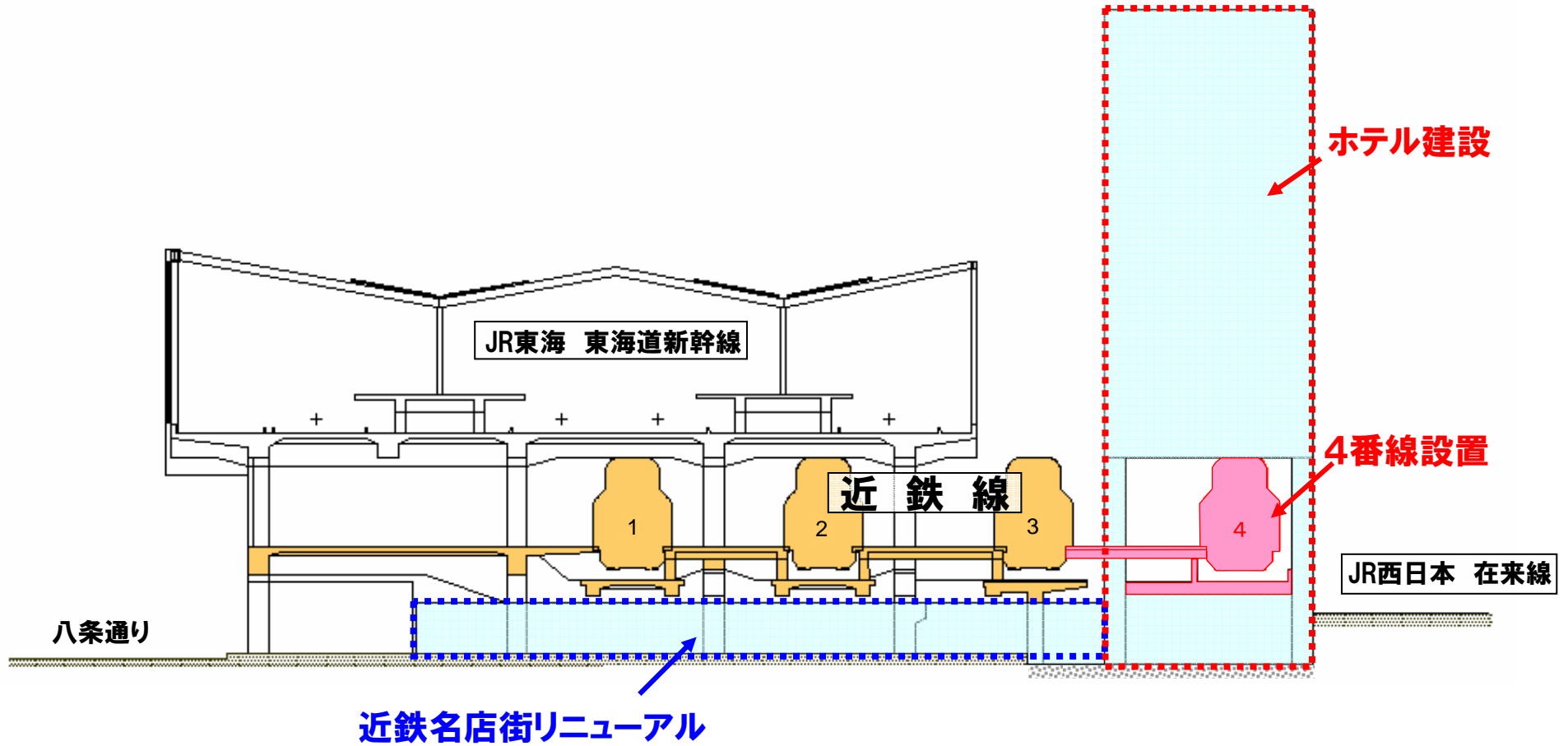
- | | |
|----------|---------------------|
| (1) 客室数 | 約370室 |
| (2) 延床面積 | 約13,000㎡ |
| (3) 構造 | 鉄筋コンクリート造 地上8階 地下なし |
| (4) 開業予定 | 平成24年3月 |

以上

京都駅位置図



断面図

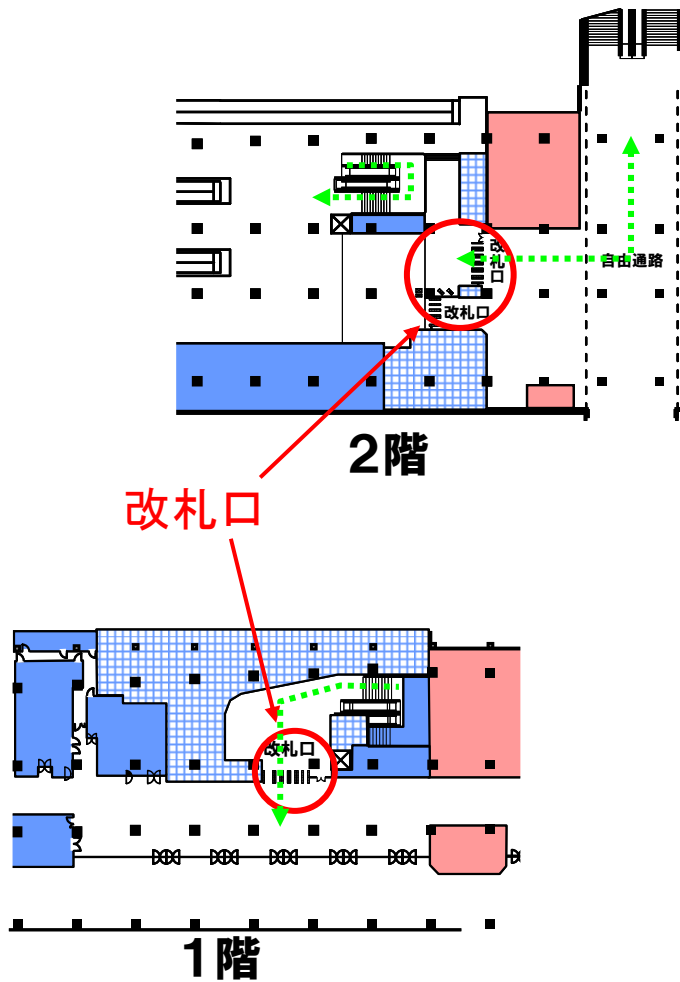




改札統合計画

| | | |
|------|--------|---------|
| (凡例) | 近鉄の駅施設 | JR東海の施設 |
| | 近鉄の店舗 | |

現状



計画

<平成20年10月時点(予定)>

